

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-4-1		事業名	平岡公園・梅林ライトアップ事業
担当	観光文化局観光コンベンション部観光企画課 梶田 TEL211-2376			
全体計画				
事業内容	<p>集客交流の促進と道内外観光客の本市への入り込み数増加を図るため、札幌の新たな観光魅力づくりとして、平岡公園梅林において梅の開花時期に合わせ夜間のライトアップを実施するとともに、道内外への積極的なPRを行う。</p> <p>また、北海道も18年度実施の花観光に引き続き19年度においても、花をテーマとして観光振興に取り組んでいる。本市としても、このライトアップ事業を通じ、花に関する新たな魅力づくりを進めることにより、北海道と有機的な連携を図り相乗効果を狙う。</p>		＜年度別の事業内容＞	
			平成19～22年度 ・ライトアップ事業の実施及び観光客誘致の推進	
事業内容 量 場 所 規 模 件 数 等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>【事業概要】 ライトアップ期間:5月10日から21日までの11日間 ライトアップ時間:18:00から21:00まで ライトアップ方法:梅林を効果的に照らすことができるように、梅林内に仮設の鉄塔を2塔立て、鉄塔の上部に水銀灯を設置するとともに、来園者が滞留する売店付近のログハウス上に水銀灯を設置し、合計13塔で照射した。 夜間来園者数:14,300人(平成19年度実績) ※全日の来園者(ライトアップ期間)約87,900人の約16%を占めた</p> <p>【事業費】 5,108千円 PRチラシ作成95千円 電気使用料11千円 賠償責任保険料10千円 仮設照明設備設置費用2,709千円 交通誘導警備業務1,253千円 公園管理維持業務1,030千円</p>		<p>【事業概要】 ライトアップ期間:5月1日から11日までの11日間 ライトアップ時間:18:00から21:00まで ライトアップ方法:来園者が滞留する売店付近の園路沿いにある梅の木を約100灯のアップライトにより木の下からライトアップするとともに、第1及び第2駐車場からライトアップ実施エリアに向かう園路に、一定間隔で簡易照明(フットライト)を設置し、明と暗のメリハリある幻想的な雰囲気づくりを行った。 また、本事業を環境に配慮した事業とするため、ライトアップに使用するライトには消費電力を約40%カットすることのできる無電極放電ランプを使用した。 夜間来園者数:22,372人(平成20年度実績)</p> <p>【事業費】 6,605千円 PRチラシ作成 95千円 電気使用料 92千円 賠償責任保険料・動産総合保険料 41千円 仮設照明設備設置費用 4,053千円 交通誘導警備業務 1,430千円 公園管理維持業務 894千円</p>	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	<p>【事業概要】 ライトアップ期間:5月2日から12日までの11日間 ライトアップ時間:18:00から21:00まで ライトアップ方法:来園者が滞留する売店付近の園路沿いにある梅の木を約100灯のアップライトにより木の下からライトアップするとともに、第1及び第2駐車場からライトアップ実施エリアに向かう園路に、一定間隔で簡易照明(フットライト)を設置し、明と暗のメリハリある幻想的な雰囲気づくりを行った。 また、本事業を環境に配慮した事業とするため、ライトアップに使用するライトには消費電力を約40%カットすることのできる無電極放電ランプを使用した。 夜間来園者数:27,246人(平成21年度実績)</p> <p>【事業費】 6,800千円 平岡公園を指定管理している財団法人札幌市公園緑化協会に委託(6,800千円) 契約額:6,761千円</p>		<p>【事業概要】 ライトアップ期間:5月7日から23日までの17日間 ライトアップ時間:18:00から21:00まで ライトアップ方法:来園者が滞留する売店付近の園路沿いにある梅の木を85灯のアップライトにより木の下からライトアップするとともに、第1及び第2駐車場からライトアップ実施エリアに向かう園路に、一定間隔で簡易照明(フットライト)を設置し、明と暗のメリハリある幻想的な雰囲気づくりを行う。 また、本事業を環境に配慮した事業とするため、ライトアップに使用するライトには消費電力を約40%カットすることのできる無電極放電ランプを使用する。 夜間来園者数:29,790人 ※低温による梅の開花速度が遅れたため、期間を延長し5月23日までとした。</p> <p>【事業費】 5,800千円 平岡公園を指定管理している財団法人札幌市公園緑化協会に委託(5,800千円) 契約額:5,775千円</p>	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-4-1			事業名	平岡公園・梅林ライトアップ事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
梅開花時期の夜間入園者数	-	14,300人	22,372人	27,246人	29,790人	17,600人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 事業実施にあたっては、平岡公園のある清田区及び区内まちづくりセンターとの調整のうえ、近隣に住む住民等に周知を図りながら事業を実施するよう努めた。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市民に対する情報提供としては、各メディア及びリーフレットを通し適宜情報提供を行い、周知を図りながら事業を推進していくよう努めた。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>来園者によるヒアリングからは、本事業の実施により梅林の新たな魅力に触れることができたといった声を多数いただいている。さらに、来園者数27,246人と、平成20年度の22,372人に比べ、多くの来場があり、本事業に対する関心の高さを知ることができたことから、平岡公園の新たな魅力づくり、ひいては新たな札幌の魅力を発掘できたと考えている。</p>			<p>来園者数の伸びから、本事業の周知が少しずつ図られてきたところであるが、来園者のほとんどは市民である現状がある。また、観光的視野に立つと、①気候や咲き具合など自然に大きく左右されるとともに、ライトアップ期間の設定が事業開始の直前になってしまうため、旅行会社が求める安定供給に不応することが困難である②同公園は札幌市郊外にあり、ややアクセスしにくい位置にあるなどの課題があり、旅行会社のヒアリングからも旅行商品化は難しいとの見解を受けているところである。以上のことから、観光客誘致を主目標に据えている観光コンベンション部の事業としては、費用対効果について検証が必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>本事業の来園者は伸びており、新たな魅力づくりの観点からは一定の評価ができるものである。しかし、夜間来園者に占める観光客の割合を把握するため、アンケート調査を実施したところ、札幌市及び市近郊の来園者で97.6%を占めるとともに、来園者の98.8%が宿泊をとらなれない日帰り客であった。</p> <p>以上の結果のとおり、夜間来園者に占める観光客の割合が非常に低く、また、この率を引き上げるための旅行商品化についても、開花に合わせてライトアップをする必要があることから、旅行日の設定ができず旅行商品化も難しい状況にある。よって、様々な経済効果を期待する観光振興という視点では効果に疑問もあり、今後の実施について様々な観点から検討していきたい。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-4-1			事業名	平岡公園・梅林ライトアップ事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	6,300	6,900	6,900	6,900	27,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	6,300	6,900	6,900	6,900	27,000				
予算	事業費	6,300	6,800	6,800	5,800	25,700				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	6,300	6,800	6,800	5,800	25,700				
実績	事業費	5,108	6,605	6,761	-	18,474				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0		0				
	市の債	0	0	0		0				
	その他の	0	0	0		0				
	一般財源	5,108	6,605	6,761		18,474				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					89.9%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》 平成19年度、20年度については、予算等の大きな差異はないが、電力の供給元を仮設から高压に変更したため、その分予算が増えている。										
[19年度] 予算と決算のかい離の理由については、公園管理維持業務に係る委託先である札幌市公園緑化協会との連携により、節約執行ができたため。										
[20年度]										
[21年度]										